

Sanwa Report

第 **77** 期 中間報告書

2011.4.1 ▶ 2011.9.30



三和ホールディングス株式会社

証券コード：5929



株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。また、本年3月の東日本大震災により、被災されました株主の皆様には心よりお見舞い申し上げます。

さて、ここに、当社第77期（2011年4月1日～2012年3月31日）の中間報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当第2四半期連結累計期間の状況

当期間におけるわが国経済は、原発事故の長期化や急激な円高、株安の進行などの影響で本格的な回復には至りませんでした。また、米国経済は、期後半にかけての個人消費の低迷、雇用の悪化、住宅市場の回復の遅れなど、総じて弱い動きとなり、欧州経済は、一部の国で財政危機が表面化し、先行きに不透明さが増しました。

当社グループを取り巻く経営環境は、国内では住宅・非住宅とも上向きの状況となりましたが、北米では住宅市場が長期低迷により振るわず、欧州では主要な市場であるドイツにおいて、住宅・非住宅とも年初の予想に比べやや弱含みに推移しました。

このような状況下、当社グループでは、国内については、多品種化の拡大に向けたグループ会社間の連携強化や事業再構築等、受注の拡大を最優先に取り組むとともに継続的なコスト削減、経営資源の有効活用による生産性の向上などに努めてまいりました。海外については、北米では新製品投入および買収事業とのシナジー効果創出を行い、欧州ではドイツ販売組織再編効果などによる受注・販売数量の増加に努めてまいりました。

以上の結果、当社グループの第2四半期連結累計期間の業績は、国内については、ビル・マンションドアが横ばいに留まるも、重量シャッターなどが大幅増収となり、震災復旧需要によるメンテナンス・サービスが大幅に伸びたことから、増収となりました。

また、海外については、北米は、自動ドアおよび車両ドアを含む商用ドアは増収となりましたが、住宅市場の低迷の影響によるガレージドアの落込みや為替の影響もあり、減収となりました。一方、欧州は、ドイツを中心として住宅用ドア、産業用ドアともに増収を確保しました。これらの結果、連結売上高については、前年同期を上回ることができました。

利益面では、国内では三和シャッターが大幅増益となり、北米は材料費や輸送費の高騰の影響を受け大幅減益、欧州では材料費高騰などの影響を受けたものの、増収効果により増益となり、これらの結果、連結利益はのれん償却負担が軽減されたこともあり、大幅な増益を確保しました。なお、純利益は4期ぶりに第2四半期連結累計期間において黒字転換となりました。

通期の見通し

今後の見通しにつきましては、国内では、タイの洪水による企業収益への悪影響、円相場の高止まりなどにより景況の先行きへの不透明感が高まっています。米国では失業率の高止まり、住宅価格の下落などにより、景気が下振れするリスクがあり、欧州では一部の国々における財政の先行き不安や高い失業率などにより、景気が低迷する恐れが強まっています。

このような厳しい環境下にありますが、当社グループは、新3カ年計画達成のための巡航速度への回帰に向けて、最重要課題である受注の更なる拡大に注力してまいります。国内においては、グループ・ネットワークを活用した多品種化の推進や地域別・商品別での戦略を明確にした受注拡大に取り組み、また、北米では、新型開閉機投入による開閉機事業でのシェア拡大や買収会社統合効果による自動ドア事業の伸長を図り、欧州では、ドイツ販売組織再編などの構造改革効果の発現に注力してまいります。

また、10月1日に国内グループ会社において商仕切事業・自動ドア事業の再編を実施しました。この事業再編により、三和シャッターを基軸とした多品種販売等、グループ全体最適化とグループの総合力発揮による市場競争力向上を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、当社の経営方針ならびに諸施策をご理解いただき、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2011年12月

代表取締役社長 高山 俊隆

地域別営業の状況 (第2四半期連結累計期間)

| | | |
|----|------|-----------|
| 日本 | 売上高 | 61,640百万円 |
| | 営業利益 | 1,747百万円 |

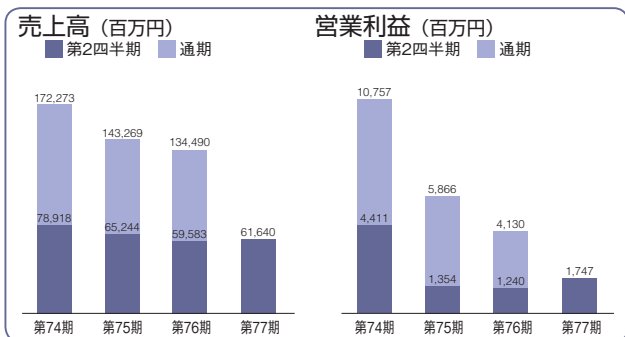
重量シャッターが大幅に増収、メンテナンス・サービスは震災の復旧需要を主因として大幅増収、また、軽量シャッターもガレージ需要の増加により増収となり、売上高は前年同期に比べ3.4%増の616億4千万円となりました。

営業利益は、中核事業会社の三和シャッター工業の増収効果と製造部門でのTCR活動、全部門でのコスト削減により、前年同期に比べ40.8%増の17億4千7百万円となりました。

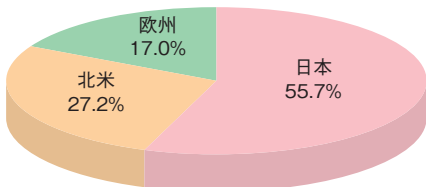
| | | |
|----|------|-----------|
| 北米 | 売上高 | 30,127百万円 |
| | 営業利益 | 238百万円 |

ガレージドアは住宅市場回復の遅れの影響により減収となりましたが、自動ドアは2011年1月に実施した事業買収により、また、車両用ドアは運輸業界の回復により増収を確保し、現地通貨ベースでは0.6%の増収となりましたが、為替の影響により、売上高は前年同期に比べ9.5%減の301億2千7百万円となりました。

営業利益は、コスト削減に努めましたが、材料費や輸送費高騰の影響を受け、前年同期に比べ73.7%減の2億3千8百万円となりました。



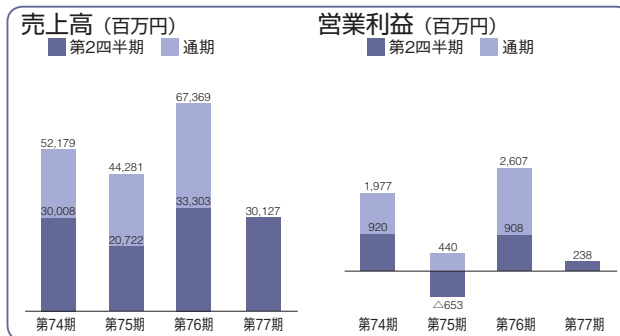
●地域別売上高構成比



(注1) 地域別セグメントに属さない数値は除いているため、各地域の売上高、営業利益の合計値は、連結売上高、連結営業利益とは一致しません。

(注2) 記載金額・%は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

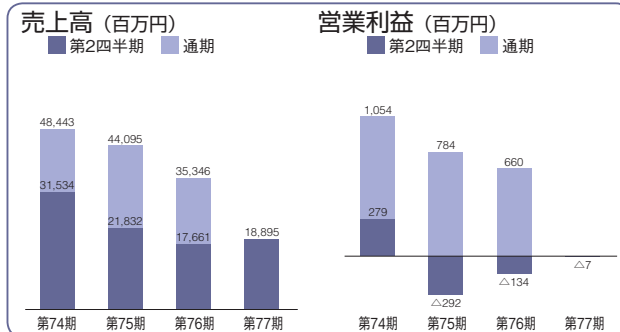
(注3) 第76期より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」を適用しているため、第75期以前のセグメント情報については、変更後のセグメントに組み替えた数値を用いております。



| | | |
|----|------|-----------|
| 欧州 | 売上高 | 18,895百万円 |
| | 営業損失 | △7百万円 |

ガレージドアは住宅市場の回復により、産業用ドアは設備投資の回復により増収となり、ヒンジドア事業についても住宅・商業用ともに増収となり、これらの結果、売上高は前年同期に比べ6.9%増（現地通貨ベースで9.9%増）の188億9千5百万円となりました。

利益面では、材料費高騰などの影響により7百万円の営業損失となりましたが、増収効果やコスト削減策の継続などにより前年同期より大幅に改善しました。（前年同期は1億3千4百万円の営業損失）



四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表の要旨

| 科目 | 前期末 (2011年3月31日) | 当第2四半期末 (2011年9月30日) |
|-------------|---------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | 114,751 | 116,098 |
| 現金及び預金 | 20,991 | 16,735 |
| 受取手形及び売掛金 | 52,928 | 49,270 |
| 有価証券 | 1,749 | 2,832 |
| 棚卸資産 | 33,236 | 40,790 |
| その他 | 6,962 | 7,731 |
| 貸倒引当金 | △ 1,117 | △ 1,262 |
| 固定資産 | 104,182 | 104,220 |
| (有形固定資産) | (52,061) | (51,715) |
| 建物 | 16,832 | 16,788 |
| 土地 | 22,448 | 22,549 |
| その他 | 12,780 | 12,377 |
| (無形固定資産) | (14,402) | (14,563) |
| のれん | 48 | 804 |
| その他 | 14,354 | 13,759 |
| (投資その他の資産) | (37,718) | (37,941) |
| 投資有価証券 | 23,145 | 23,483 |
| その他 | 15,071 | 14,899 |
| 貸倒引当金 | △ 499 | △ 441 |
| 資産合計 | 218,933 | 220,319 |

※ 当第2四半期末の有形固定資産の減価償却累計額 70,774百万円

四半期連結損益計算書の要旨

| 科目 | 前第2四半期累計 (2010年4月1日～ 2010年9月30日) | 当第2四半期累計 (2011年4月1日～ 2011年9月30日) |
|--------------------------|--|--|
| 売上高 | 110,609 | 110,724 |
| 売上原価 | 82,659 | 82,638 |
| 売上総利益 | 27,949 | 28,085 |
| 販売費及び一般管理費 | 27,580 | 26,849 |
| 営業利益 | 368 | 1,236 |
| 営業外収益 | 650 | 670 |
| 営業外費用 | 930 | 849 |
| 経常利益 | 88 | 1,058 |
| 特別利益 | 43 | 25 |
| 特別損失 | 3,370 | 575 |
| 税金等調整前四半期純利益又は純損失 (△) | △ 3,238 | 508 |
| 法人税等 | 198 | 363 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益又は純損失 (△) | △ 3,437 | 144 |
| 少数株主損失 (△) | △ 17 | — |
| 四半期純利益又は純損失 (△) | △ 3,419 | 144 |

※ 当第2四半期連結累計期間の1株当たり四半期純利益 0円60銭

(単位: 百万円)

| 科目 | 前期末 (2011年3月31日) | 当第2四半期末 (2011年9月30日) |
|---------------|---------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | 66,880 | 67,073 |
| 支払手形及び買掛金 | 33,186 | 33,209 |
| 短期借入金 | 9,261 | 7,433 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 840 | 1,676 |
| その他 | 23,591 | 24,754 |
| 固定負債 | 66,031 | 68,285 |
| 社債 | 34,400 | 34,400 |
| 長期借入金 | 15,390 | 18,301 |
| 退職給付引当金 | 8,673 | 8,884 |
| その他 | 7,568 | 6,699 |
| 負債合計 | 132,912 | 135,358 |

純資産の部

| | | |
|----------------|----------------|----------------|
| 株主資本 | 93,247 | 92,430 |
| 資本金 | 38,413 | 38,413 |
| 資本剰余金 | 39,902 | 39,902 |
| 利益剰余金 | 24,624 | 23,807 |
| 自己株式 | △ 9,693 | △ 9,693 |
| その他の包括利益累計額 | △ 7,316 | △ 7,578 |
| その他有価証券評価差額金 | △ 3,334 | △ 4,256 |
| 繰延ヘッジ損益 | 106 | — |
| 為替換算調整勘定 | △ 4,088 | △ 3,321 |
| 新株予約権 | 90 | 108 |
| 純資産合計 | 86,021 | 84,960 |
| 負債純資産合計 | 218,933 | 220,319 |

四半期連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

| 科目 | 前第2四半期累計 (2010年4月1日～ 2010年9月30日) | 当第2四半期累計 (2011年4月1日～ 2011年9月30日) |
|------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,044 | △ 299 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △ 2,124 | △ 3,306 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △ 858 | 302 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △ 318 | 347 |
| 現金及び現金同等物の減少額 | △ 2,255 | △ 2,955 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 34,912 | 20,306 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 32,656 | 17,351 |

(注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

第5回キッズデザイン賞受賞商品

園児用トイレブース

ピーターパン／パンジー



三和シャッター工業株式会社の園児用トイレブース「ピーターパン／パンジー」が、第5回キッズデザイン賞（キッズセーフティ部門）を受賞しました。

「ピーターパン／パンジー」は、3～6歳の子供を対象としたトイレブースで、主に保育園や幼稚園のトイレおよび百貨店、ショッピングセンターの子供用品売り場などのトイレに設置されます。

ドアに指をはさまない構造や安全に配慮したドア加工、握りやすいハンドルや操作しやすい錠前など子供たちの安全・安心・快適を守る視点が評価されました。

今回のキッズデザイン賞受賞を機に、今後ますます、安全・安心・快適な商品づくり、サービスの追求に取り組んでまいります。

※キッズデザイン賞は、「子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン」「子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン」「子どもたちを産み育てやすいデザイン」というキッズデザインの理念を実現し、普及するための顕彰制度です。



Shine Facade

EcoLEDa

サインの常識を変える次世代スタイル



ガラススクリーン（外部・内部）を広告として有効に活用したい。



※イメージCG

必要に応じてビジュアルボードを簡単に交換でき、LEDで夜間も広告効果が期待できます。

昭和フロント株式会社では、フロントの枠内にLEDサインを組み込んでファサードを魅力的に彩りながら高い省エネ効果を実現するフロント組込型LEDサイン「EcoLEDa」（エコレダ）を9月より発売いたしました。

昭和フロントのフロント組込型LEDサイン「EcoLEDa」（エコレダ）を使うことで、コンビニエンスストアやカフェなどの店舗、商業施設のファサードやガラススクリーンを広告スペースとして活用したり、既に蛍光灯やスポットライトを使用しているサインや看板の省エネ効果を高めたりすることができます。

また、サインや看板を交換する際、従来は本体を取り外す作業が必要でしたが、本商品は室内側から一部の形材を取り外すだけで簡単にビジュアルボードを交換することができます。

LEDは、蛍光灯と比較して消費電力が約3分の1ですみ、夜間に長時間点灯しても消費電力を抑えることができます。

エコレダは“街の賑わい”と“節電”という2つのテーマを一挙に解決するサインです。

※EcoLEDaは、“Eco”と“LED”に業界初のフロント組込型LEDサインという意味でアルファベットの一番初めである“a”を組み合わせた造語です。

会社の概要

- 商号 三和ホールディングス株式会社
- 創立 1956年4月10日
- 資本金 38,413百万円
- 従業員数 (連結) 8,207名
※従業員数は就業人員数を記載しております。
- 本社所在地 〒163-0478
東京都新宿区西新宿二丁目1番1号
(新宿三井ビル52階)
TEL (03)3346-3019 (代表)
- 主なグループ会社 三和シャッター工業株式会社
昭和フロント株式会社
沖縄三和シャッター株式会社
三和タジマ株式会社
三和エクステリア新潟工場株式会社
ベニックス株式会社
Sanwa USA Inc. (アメリカ)
Overhead Door Corporation (アメリカ)
Novoferm Europe Ltd. (イギリス)
Novoferm Vertriebs GmbH (ドイツ)
Novoferm GmbH (ドイツ)
Novoferm France S.A.S. (フランス)
Novoferm Nederland B.V. (オランダ)
Novoferm Schievano S.r.l. (イタリア)
- ホームページアドレス <http://www.sanwa-hldgs.co.jp/>
ホームページで最新のトピックス、IR情報等を紹介、各グループ会社のホームページにもリンクしております。
- 役員
代表取締役社長 高山 俊隆
執行役員社長
取締役社長 南本 保 グループ本社部門担当
執行役員副社長
取締役 中屋 俊明 国内事業部門担当
専務執行役員
取締役 安田 順一 IT改革・特命事項担当
専務執行役員
取締役 谷本 洋実 海外事業部門担当
常務執行役員
取締役 橋本 俊作
常勤監査役 黒澤 勝
常勤監査役 福地 成治
監査役 田辺 克彦 弁護士
監査役 森元 淳平

※ 橋本俊作氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
 ※ 田辺克彦氏および森元淳平氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。
 ※ 当社は株式会社東京証券取引所に対して、橋本俊作氏、田辺克彦氏、森元淳平氏を独立役員として届出しております。

株式の状況

- 発行可能株式総数 550,000,000株
- 発行済株式の総数 257,920,497株
- 株主数 12,007名
- 大株主

| 株 主 名 | 持株数(千株) | 出資比率(%) |
|---|---------|---------|
| ノーザントラストカンパニー(エイブイエフシー)サブアカウントアメリカンクライアント | 19,634 | 7.61 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 16,198 | 6.28 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9) | 11,407 | 4.42 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 11,346 | 4.39 |
| 株式会社三井住友銀行 | 11,299 | 4.38 |
| 第一生命保険株式会社 | 8,100 | 3.14 |
| 日本生命保険相互会社 | 7,924 | 3.07 |
| あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 | 7,735 | 2.99 |
| 日新製鋼株式会社 | 6,968 | 2.70 |
| ノーザントラストカンパニー-エイブイエフシー-リエ-エスタックスエグゼンプテッドベンションファンズ | 6,537 | 2.53 |

※当社は自己株式17,614,394株を保有しておりますが、上記の大株主からは除いております。
 ※記載数値は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日
- 定時株主総会 毎年6月
- 株主確定日 定時株主総会議決権行使株主 3月31日
 期末配当金受領株主 3月31日
 中間配当金受領株主 9月30日
 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
- 単元株式数 1,000株
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座 口座管理機関
- 同連絡先 〒137-8081
 東京都江東区東砂七丁目10番11号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 TEL 0120-232-711 (フリーダイヤル)
- 上場証券取引所 株式会社東京証券取引所(証券コード5929)
- 公告の方法 電子公告
 公告掲載URL <http://www.sanwa-hldgs.co.jp/>
 ただし、事故その他やむをえない事由によって電子公告による公告が行えない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。